

岸和田地区 保護司会だより

【発行】岸和田地区保護司会 岸和田市野田町1丁目5番5号 岸和田市立福祉総合センター2階
 メ野 久寿喜 TEL 072-438-6660
 【発行責任者】根來亮裕 【印刷所】シメノ印刷工業株式会社

2020(令和2)年



杉江能楽堂

観世流能楽師・杉江櫻園が、岸和田藩最後の城主・岡部長職から城内にあった能舞台の一部を譲り受け、大正6年に設立。現存する民間の能楽堂としては、100年の歴史をもつ府下最古のものです。

～保護司信条～

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって、

1. 公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽力します。
1. 明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の予防に努めます。
1. 常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

岸和田地区保護司会 設立70周年記念を迎えて

岸和田地区保護司会

会長メ野 久寿喜



岸和田城の桜も終り、清々しい季節になりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年は56年振りに東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。又、岸和田地区保護司会では今年11月28日（土）設立70周年記念式典を開催します。多くの方々のご出席を是非よろしくお願い致します。

昨年を振り返れば、大変うれしいことが2件ありました。1点目は、永年の懸案事項、岸和田地区更生保護サポートセンターの移転

問題が、今年3月7日をもつて市立保健センターから市立福祉総合センターに移転できました。顧みれば平成27年7月、旧市立福祉総合センターに移転、その後駐車場

健センターに移転、その後駐車場不足問題や、夜間・土日祝日開館時間制約等で利用者・メンバーに多大なご不便をかけましたが、新市立福祉総合センターに移転後、これらの問題が解消されました。

これはひとえに岸和田市長、岸和田市副市長、担当部課長、大阪保

護観察所長・堺支部長、保護司会、更生保護女性会、協力雇用主会、関係団体、多くの関係者のご協力を得て成し得たものとメンバー一同衷心より感謝しております。本当にありがとうございます。

さて今年度は、5月の市民フェスティバル、7月の「第70回社会を明るくする運動」市民集会、11月の岸和田地区保護司会設立70周年記念式典、来年4月の岸和田地区保護司会70周年記念誌発行

た。

2点目は、「第69回社会を明るくする運動」市民集会「作文コンテスト」で平成21年以来岸和田市で初めて、市立山直中学校3年、春木結子さんが大阪府推進委員会から「ひまわり奨励賞」を受賞し、大阪代表として東京の中央推進委員会へ推薦されました。今後の岸和田市内の小・中学校の社会を明るくする運動「作文コンテスト」の躍進にも大いに弾みがつくものとメンバー一同喜んでおります。

一方、岸和田地区保護司会の今後10年間でメンバー数が半減、新たな保護司の発掘が今後の大重要な課題となっています。今年度6名の方が定年退任されます。従来、定年退職保護司に新人保護司の发掘をお願いしておりますが、是非、退任保護司の所属する分会でも新人保護司の发掘にお力を入れて頂き、保護司メンバー全員、保護司会OB会、更生保護団体の方々にもぜひご協力ををお願い致します。

◆統一研修 講師 濱井觀察官
◎第一期 令和元年6月
テーマ「専門的待遇プログラムについて」

◎第二期 令和元年9月
テーマ「良好・不良措置について」

◎第三期 令和元年12月
テーマ「複数担当制について」

◎第四期 令和2年2月
自由テーマ「面接について」

四回の統一研修では、研修資料の学びと共にグループ討議をしてきました。グループ討議は、多くの人の考えが聴ける場であり、交流してテーマを深めあいました。

特に第四期では、12月の複数担当制の研修の中での意見を参考に、はじめての面接への不安から、複数制の希望の声を基に「面接について」のテーマをグループ討議から学びました。グループは、5グループ。司会も

研修部
一年間の研修報告

と大きな行事が目白押しの年となりますが、メンバーの皆様が「全員出番」の気持ちで頑張っていただけるようお願い致します。

結びに、「反省は一人でできるが、更生は一人ではできない」という気持ちを保護司会一同は大切にし、更生保護活動を進めていきます。今後とも岸和田市の更生保護活動に皆様方のご協力・御支援をよろしくお願ひして、ご挨拶とさせていただきます。

更生保護活動



岸和田地区更生保護女性会
会長代理 西植 智子

朱音さんが「社会を明るくするために出来ること」で入選されました。また、佳作賞を岸和田市立山滝小学校五年生、坂本和田市立山滝小学校五年生、坂本

が「私達が目指すべき社会」で入選されました。また、佳作賞を岸和田市立山滝小学校五年生、坂本

朱音さんが「社会を明るくするためでとうございます。更生保護活動の一環としての社明運動への弾みとなります。泉州寮炊事奉仕活動では、社会復帰を目指す人達に、おばあちゃん、お母さんの気持ちで食事作りをしています。あいさつ運動、子育て支援では、地域の人々に寄り添いながら、女性としての温かい気持で活動しています。先輩達が積み重ねて来られた活動を次世代に繋げていけますよう関係諸団体との絆を大切に女性の愛と奉仕の心で明るい社会つくりに努めます。

本年度も保護司会、協力雇用主会の皆様とともに3団体協力のもと更生保護活動を推し進めてまいります。

保護司会の皆様には、平素から更生活動に御支援御協力を賜り有難うございます。

昨年の総会以後、市民フェスティバルでの社明の啓発活動、刑務所作業製品の販売、更生保護等のチラシの配布をさせていただきました。社明運動では、作文コンテストで、大阪府推進委員会の「ひまわり奨励賞」を岸和田市立山直中学校三年生、春木結子さん



岸和田地区 更生保護女性会

三団体が協力して

岸和田地区協力雇用主会
会長 石田 幸浩



◆自主研修
◎第一回 令和元年5月
テーマ「更生保護に関するはなしあれこれ」
講師 大阪保護観察所
◎第二回 令和元年10月
テーマ「岸和田市の少年の非行及び薬物の現状」
講師 岸和田警察署
◆研修部
自主研修では、岸和田の少年事件数が減少しているとのことで。しかし薬物等では、低年齢化してきている現状を学ぶことができました。

◆研修部としては、6月の定例会後10月の自主研修について話し合いました。9月には、3年未満の新人保護司研修を実施しました。

この1年の学びを今後の研修部の活動に、より一層皆様の協力ををお願いして研修部会報告を致します。

今後も、一団体としては微力ながらも、各団体の皆様と共に、明るい社会作りに貢献させていただく所存でございます。

何卒、本年度もよろしくご指導のほどお願い申し上げます。





令和元年10月7日（月）、東京国際フォーラムにおいて、天皇皇后両陛下御臨席の下、更生保護制度施行70周年記念全国大会が開催されました。

全国から保護司、更生保護女性会員、更生保護法人役職員、BBS会員、協力雇用主等の更生保護関係者や来賓・役員など約五千人が出席しました。



**全国保護司連盟
理事長表彰**

メ
根
來
亮
野
秋
裕
西
出
久
喜
福
岡
健
玲
木
村
武
仁
敦
子
原
村
武
仁
敦
子
久
一
司
子

法務大臣表彰

山 中 治

藍綬褒章

令和元年度秋の褒章において、また令和元年10月7日(月)の更生保護制度70周年記念全国大会並びに11月6日(水)大阪大会においての方々が受章・表彰を受けられました。

受章・表彰の栄誉を受けられた方々

**近畿地方更生保護委員会
委員長表彰**

奥 金 桶 西 野 白 金 奥
田 隆 行 進 田 泰 弘
原 畑 横 口 村 秀 田 泰 弘
中 口 村 秀 田 泰 弘
昭 泰 城 喜 田 泰 弘
太 陽 城 喜 田 泰 弘

大阪保護観察所長表彰

小 川 柿 岩 朝 岩 岩 岩
山 原 本 崎 康 倉 岩 岩 岩
藤 一 孝 郁 康 岩 岩 岩
夫 紀 治 代 广 岩 岩 岩

**近畿地方保護司連盟
会長表彰**

前 谷 川 正 田 口 伸 昭 太
田 米 治 田 口 伸 昭 太

**藍綬褒章を受けて
山中 治**



山中 治

昨年8月の下旬
「大阪保護観察所の〇〇で

す」の電話。一瞬私に何かクレームでも入ったのでは。「おめでとうございます。いま、藍綬褒章の内示がありました」「間違いではありません。経歴が誤って記録されているのです?」「それはありません。関係書類を送りますので参考にしてください。正式には閣議決定が必要なのでそれまで内々に」とのことでした。

本当にありがとうございました。
拝謁後参内者で集合写真をとり順次バスで法務省へ帰り、午後3時頃解散となりました。

保護司歴24年の最終年にあたり、光榮この上ない機会を与えて頂きました。保護司会をはじめ関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

阪 杉 井 正 秋 明
高 瀬 伸 悟 一
根 村 武 久
古 松 一 明

**大阪府保護司会連合会
会長表彰**

(家族) 鳥 居 三 千 代
山 中 豊 子

**大阪府保護司会連合会
会長表彰**

その後11月2日の新聞発表を経て同月16日に法務省から正式に伝達式等の案内状が届き12月17日同省にて「秋の褒章の伝達式及び宮殿にて天皇陛下への拝謁の予定」との内容でした。

伝達式は予定通り同日午前9時40分から開始され受章者150名、配偶者109名参加とのこと。私達も夫婦で出席しました。

式典終了後バス8台に分乗し順次皇居へ。他の省庁関係の受章者の方々と共に宮中へ参内。豊明殿(晩餐会等が開かれる部屋で280坪あるそうです)にて天皇陛下に拝謁致しました。ほんの10数分の事でしたがこれまでに経験したことのない肅然とした時の流れを感じました。



法務大臣表彰を受けて

石田 敦子



更生保護制度
施行70周年の記念すべき年に表彰

し担当しなければならない人達です。無事に社会復帰した人に道で出会い、向こうから「こんにちは」と声をかけられた時には本当に嬉しくなります。

私が実際に担当させて頂いた対象者は何人いたのかと思いを巡らしています。解除をされたにも拘らず、又戻つて来た人、無事に社会復帰した人、やはり一番残念な事は何度も繰返します。

私が実際に担当させて頂いた対象者は何人いたのかと思いを巡らしています。解除をされたにも拘らず、又戻つて来た人、無事に社会復帰した人、やはり一番残念な事は何度も繰返します。

法務大臣表彰を受けて

古石 健一



和元年に法務大臣より、表彰を

この度は、令

受け賜り身に余る光栄だと思つております。これも今日までの保護観察官や地区保護司会の方々のご指導とご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

その後20年の間少年から成人まで多くの対象者を受け持つ事になり、特に少年との関わりで、その生き立ちが原因ではないかと思われる事件も多くありました。保護司になつた事で、通常では経験できない事、又、色々な方との出会いができ自分自身も多少なりとも成長させていただきました。今後も皆様方のご指導をいただき微力ではございますが、法務大臣表彰に恥じないよう活動をしてまいります。引き続きよろしくお願ひ申します。

じた事を思い出します。

20周年の時に、私は新人保護司として任命され、記念誌に投稿した事を思い出しておきます。保護司という働きを通してさまざまな人と出会い、交わりを与えられたことに改めて感謝しております。

法務大臣表彰を受けて

福村 武久



更生保護制度
施行70周年記念

臣表彰を戴き、これも偏に、岸和田地区保護司会の皆様のご指導、ご鞭撻のお陰だと感謝申し上げます。

令和元年10月7日、東京国際フォーラムで開催されました全国大会に出席させていただきました。式典は、天皇、皇后両陛下のご臨席を賜り、緊張した中、厳かに行われました。この様な式典に出席させていただき本当に感謝申

し上げます。

顧みますれば、平成16年9月25日に、保護司を拝命し、今日まで無事に保護司の役割を果たせましたのは、岸和田地区保護司会に入会後親しくさせていただいておりました会員の皆様のご指導、ご協力と家族の理解の賜物だと思っています。

残り一年弱の保護司任期を、岸和田地区保護司の皆様と社会を明るくし、安心安全な街づくりに微力ながら貢献してまいりたいと思つております。最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

法務大臣表彰を受けて

原 玲子



更生保護制度
施行70周年記念

た根気強い気持で接しました。矯正施設に面会に行つたり手紙での励ましなど何回もの面会で家族の目に更生に励んだ青年は恩赦を受け共に喜んだことありました。保護司会では多くの先輩はじめ皆様に支えられお導きいただき無事定年を迎えたことにも感謝の念で一杯でございます。これからもこの保護司会で過ごした日々を心の糧に歩んで参りたく思っております。

20年前初めて対象者と面会した時の緊張感と不安が甦つて参ります。その後数多くの対象者と往訪、来訪をくり返す中、私は常に女性としての立場から慈愛に満ち

ように話し合える仲になり解除になりました。無事に社会復帰した人に道で出会い、向こうから「こんにちは」と声をかけられた時には本当に嬉しくなります。

年院から帰つて来た少年の態度がすっかり変つていた事です。背筋を伸ばし直立不動で、「はい」と礼儀正しく、又仕事にも真面目に取り組むようになります。20年前は丁度更生保護制度施行50周年の時に、私は新人保護司として任命され、記念誌に投稿した事を思い出しておきます。保護司という働きを通してさまざまな人と出会い、交わりを与えられたことに改めて感謝しております。

第69回「社会を明るくする運動」

今年度の「社会を明るくする運動」は、市民フェスティバル、街頭啓発、市民集会の三つの事業を軸として実施されました。

市民フェスティバル

例年5月に行われている岸和田市民フェスティバルに、更生保護団体として参加しました。当団体は、「社会を明るくする運動」の一環として、保護司会の広報部を中心、更生保護女性会および協力雇用主会の方々と協力をしながら、更生保護に関する資料や啓発物品の配布と共に、市民に対して意識調査を実施しました。



今年で2年目の参加になります。新たに刑務所作業製品の販売を取り入れるなど試行錯誤をしながらの状態ですが、更生保護に対する理解と協力をいただくことを、市民の方々にさらに一層求めていきたいと思っています。

令和2年度も引き続き実施をしたいと考えていますので、ご指導とご協力をお願いいたします。

ましたが、観察所からお借りしたアカルイーネちゃんの着ぐるみが大活躍で、子どもさんが集まると一緒に付き添いの方が多く来られました。

「社会を明るくする運動」
大阪府推進委員会キャラクター
アカルイーネ



街頭啓発活動



全国的に行われている「社会を明るくする運動」は、7月を強調月間としています。岸和田市でもこの間に市民集会及び街頭啓発活動を行なっています。「第69回社会を明るくする運動」では、市民集会を昨年の7月13日（土）に行ない、その先駆けとして街頭啓発活動を6日（土）に実施いたしました。



最後に、市の青少年問題協議会の事務担当である生涯学習課の方々にお世話になりました。ありがとうございました。

街頭啓発を通じて、「社会を明るくする運動」の主旨を多くの市民の皆様に理解を得、協力をいただきながら安全で安心なまちづくりがさらに一層進んでいくようになります。今後とも努力をしていきたいと思っています。

「社会を明るくする運動」 市民集会



今年度の市民集会は、7月13日（土）午後2時から岸和田市立文化会館において、「2019年度少年非行・被害防止、暴走族追放強化月間」第69回「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力～をテーマとして実施しました。主催は、第69回「社会を明るくする運動」岸和田地区推進委員会・岸和田市青少年問題協議会、主幹は、岸和田地区保護司会・岸和田地区更生保護女性会・岸和田地区協力雇用主会です。

566名の参加者で満席の熱気のなか、第一部は阪井伸恵岸和田地区更生保護女性会副会長の開会の言葉の後、久米田高等学校ダンス部の皆さんによる華麗なオーブンセッションによつてスタートしました。その後、メ野久寿喜岸和田地区保護司会会长の内閣総理大臣メツセージ紹介、永野耕平岸和田市長、萩原雅也岸和田市青少年問題協議会会长の主催者挨拶に続き、大阪保護観察所堺支部統括保護観察官井之口隆様、岸和田市議会議長米田貴志様、大阪府岸和田警察署長脇山武和様の来賓挨拶、及び来賓紹介、主催者紹介が行われました。

第二部では、「社会を明るくする運動」作文コンテスト入選者表彰が行われ、小学生の部では城北小学校5年生蓬萊さくらさん、山滝小学校5年生坂本朱音さん、山直北小学校6年生松波小日菜さん、中学生の部では、春木中学校2年生林優衣さん、山直中学校3年生春木結子さん、桜台中学校3

ニングによつてスタートしました。その後、メ野久寿喜岸和田地区保護司会会长の内閣総理大臣メツセージ紹介、永野耕平岸和田市長、萩原雅也岸和田市青少年問題協議会会长の主催者挨拶に続き、大阪保護観察所堺支部統括保護観察官井之口隆様、岸和田市議会議長米田貴志様、大阪府岸和田警察署長脇山武和様の来賓挨拶、及び来賓紹介、主催者紹介が行われました。

今回も車中でのDVDによる研修となり、矯正施設の見学はかないませんでしたが、互いの親睦と情報交換の場として非常に有意義で楽しい研修となりました。

参加者は25人で、当日の朝7時に福祉センター前を出発しました。

最初の見学地は、「リニア・鉄道館」で、鉄道の歴史やリニアモーターカーの試乗など夢と思いつの体験をしました。

昼食後、三種の神器の一つ草薙神剣をまつる熱田神宮に参拝し、神と人、千古の社に仰ぎみる悠遠のときを過ごしました。



一泊研修旅行



年生番匠文音さんが表彰されました。（尚、後日実施された大阪の作文コンテストで、今回初めて春木結子さんが「ひまわり奨励賞」、坂本朱音さんが「佳作賞」を受賞しました。）

その後、本門法華宗法華寺住職庄司真人氏による「子供を取り巻く環境」～今、大人が知つておくべきこと～の公演があり、最後に石田幸浩岸和田地区協力雇用主会

年生番匠文音さんが表彰されました。（尚、後日実施された大阪の作文コンテストで、今回初めて春木結子さんが「ひまわり奨励賞」、坂本朱音さんが「佳作賞」を受賞しました。）

会長の決意表明をもつて閉会しました。

今年の集会には、15団体・21事業主・6個人の皆様からご協賛をいただきました。多くの方々のご協力により、今年も盛会裏に実施され、この運動を契機に犯罪非行の更生、予防について共に理解を深め、地域のすべての人々が手を携えて犯罪非行のない社会を目指す良い機会となりました。

その後、日本遺産の「有松の町並み」そして、『ごんぎつね』の作者である「新見南吉の記念館」を見学と、初日からハードスケジュールにも関わらず時間を忘れた一日でした。

夜の懇親会では日頃の苦労話に花を咲かせ、食べて歌つて大いに盛りあがつた次第です。

翌日は、酢作りの歴史や食文化の魅力に触れ楽しみ学べる博物館を見学しました。

午後からは常滑陶磁器会館を見学した後、やきものの散歩道を歩きながら帰路のバスへと乗り込みました。本当にありがとうございました。



親睦ゴルフコンペ開催

岸和田地区の更生保護活動をより一層推進していくため、

保護司会・更生保護女性会・協力雇用主会の三団体が

今回、新たに二つの活動に取り組みましたので紹介します。

11月5日（火）、関西空港ゴルフ俱楽部において、協力雇用主会と保護司会、3組11名の参加者により、岸和田地区更生保護団体親睦ゴルフコンペが開催されました。



「日頃の皆さんの精進のお陰で、絶好のゴルフ日和となりました。今日一日、ゴルフを楽しみ親睦を深めてください。」と、協力雇用主会・石田会長の挨拶の後、秋晴れの中、午前9時4分、第一組がスタート。ナイスショットの掛け声が響き、参加者全員が和やかな雰囲気でプレイを楽しみ、親睦を深めることができました。

表彰式を行いました。結果は、保護司会の福村武久さんが優勝に輝き、ニアピン賞は、保護司会の今口一美さん・萬屋興司さん、協力雇用主会の寺田歩さん、ドラコン賞は、保護司会の藤本一善さん、協力雇用主会の石田会長がそれぞれ受賞されました。

今回、初めて企画したゴルフコンペですが、「会議ばかりやつたらあかん、たまにはこういうことも必要。ゴルフコンペは続けてやつていこう」ということになり、次回は更生保護女性会さんにも参加いただき、更に親睦を深めたいと思います。

11月21日（木）、福祉総合センターにおいて、保護司会、更生保護女性会、協力雇用主会の役員が出席のもと、岸和田地区更生保護団体連絡協議会が開催されました。

今回の連絡協議会を立ち上げた目的は、更生保護団体の連携をより強固なものにするためです。

平成28年12月、再犯防止推進法が公布・施行され、国はもとより、地方公共団体も地方再犯防止推進計画の策定に努めることとされました。

岸和田市においては、現在の第4次地域福祉計画が見直される令和4年の第5次地域福祉計画には、地方再犯防止推進計画が内包できるよう検討したいとのことであります。その時には、更生保護団体も

計画の見直しに参画させていただき、我々の意見を反映した地方再犯防止推進計画にしていただきたいと考へています。そのためには

は、更生保護団体が情報を共有し、連携を密にする必要があるため、今回の連絡協議会の立ち上げに至つたものです。

会議では、総会資料等をもとに各団体の活動状況の発表・意見交



換を行うとともに、保護司会から
国の再犯防止推進計画に基づく市
の動きを説明し、情報の共有を図
りました。

出席者からは「今日、初めて知つたことも多く、会議に呼んでいただけでよかつた」との声がありました。

連絡協議会は今後も継続して開催し、更生保護サポートセンターを拠点として、より一層岸和田地区の更生保護が推進されるよう三団体が連携して取り組んでいくことを確認しました。

更生保護団体連絡協議会を立ち上げました

表彰式では、表彰状及び記念品の贈呈に続き、古川芳昭大阪保護観察所長が「中学3年生の春木さんは、作文コンテストはこれで卒業となります。しかし、この機会を忘れないで、これから先も犯罪や非行の問題について関



作文コンテスト表彰式

令和2年1月7日（火）、法務省が主催する「第69回『社会を明るくする運動』作文コンテスト表彰式」が大阪合同庁舎で行われ、山直中学校3年生の春木結子さんが大阪府を代表する作文6点（小学生3点、中学生3点）の中の一点として表彰されました。ひまわり奨励賞の受賞は岸和田では初めての快挙です。

大阪府推進委員会が実施したコンテストでは、総数25,473点（小学生9,488点、中学生15,985点）の応募がありました。

心を持つていただいて、そういう関心の中で社会の動きとかを見ながら、これから自分はどう行動していくべきかということをきちんと考えていただけたらありがたいなと思っています。」

と祝辞を述べ、激励されました。

表彰式後の記念撮影では、マスクコットキャラクター「アカルイーちゃん」と、スペシャルゲスト「社会を明るくする運動」大阪府PR大使の大坂府住みます芸人「span!」がお祝いに駆けつけました。

表彰式の第二部は「span！」の軽妙なトークで会場は和やかな雰囲気に包まれる中、受賞者のみなさんにインタビューが行われ、春木さんは「受賞すると思つていなかつたからすごくうれ

しい。好きな食べ物は、中華料理の小籠包です。」と答えました。

春木さんは作文について「自分がまだ人生で学んできたことはすごく少ないけれど、自分が思う目指すべき社会を想像して書きました。ひまわり奨励賞の受賞はビックリしたけど嬉しかったです。」

永野市長は「犯罪のない社会を

祝 社明作文コンテストで 春木結子さんが 『ひまわり奨励賞』



春木さんが市長を表敬訪問

令和2年1月29日（水）春木さんがひまわり奨励賞受賞の報告に永野市長を表敬訪問し、米田市議会議長、樋口教育長が同席されました。



春木さんは作文について「自分がまだ人生で学んできたことはすごく少ないけれど、自分が思う目指すべき社会を想像して書きました。ひまわり奨励賞の受賞はビックリしたけど嬉しかったです。」と報告しました。

そして、米田議長と樋口教育長からも心のこもった温かいご祝辞をいただきました。歓談の後、最後に記念撮影が行われ、終始和やかな雰囲気で表敬訪問を終えました。

ひまわり奨励賞 受賞作文

「私達が目指すべき社会」

岸和田市立山直中学校3年生 春木 結子さん



「悪いことをしたらどうなるの」「おまわりさんに逮捕されて、刑務所に入れられるよ」

これは誰しも一度は聞いたことのある言葉ではないでしょうか。子供に「言うことを聞かないと牢屋に入れられるよ」と言つていのを見たり、大人の人なら幼い頃に言われたりした経験がある人もいるかもしれません。私も犯罪を犯した人は刑務所に閉じ込められるのだという認識を当たり前のように持っていました。

犯罪を犯すということは、社会や生活に損害を与えたり、被害者の人の未来や自由を奪つたりすることです。その結果、犯罪を犯した人は刑務所に入り、今までの自由な生活から隔離される。そして、未来や自由を奪つた代償の罰を受ける。だから、刑務所に入れられることは罰を受けさせることが目

的であるというふうに思つていました。

ところがある日のことです。知り合いのおばさんの家を訪ねる機会がありました。ふと部屋の中を見ると、とてもきれいな木工細工の小物入れがありました。私がそれを手に取つて見ていると、おばさんが思いがけないことを教えてくれたのです。

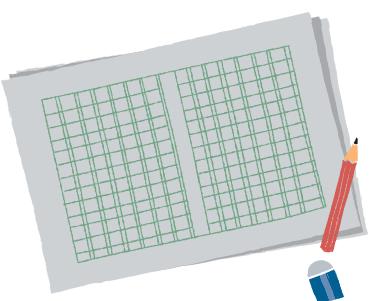
その小物入れは、刑務所に服役している人が作ったもので、おばさんは刑務所で開かれる「矯正展」というものに行つて、そこで購入してきたと言つていました。また小物入れだけでなく、同じく矯正展で購入した皮のパスケースも見せてくれました。二つとも、

とても丁寧に作られていて、おばさんも使つていて本当に丈夫で品質が良いのよ、と言つていました。この出来事は、私の中の認識が覆つた瞬間でした。

多くの人々は、犯罪を犯した人は罰を受けることが当然で、服役した人にはその後の人生など存

しないかのように思い、彼らの今後を想像すらしないかも知れません。けれど犯罪を犯した人にも、刑期を終えた後、私達と同じく社会の一員として生きていく権利があります。社会に復帰した彼らが安定して暮らしてゆき、再び犯罪を犯すことなく生きてゆけるようになることが、罰をうけさせることがよりもっと重要なことなのであります。

本当の犯罪のない世の中になるためにはどうすればいいのでしょうか。もちろん一人一人の人間が犯罪を犯さないようにすることが最も大切なことですが、社会復帰を果たした彼らと共に存してゆくことができるよう、私達の認識を変えていくことも必要であると思います。反省し、罪を償つた人が、孤立することもなく生活してゆける社会こそが、私達が目指すべき社会の姿だと思います。



新任保護司の紹介



池川 美津雄

【趣味】旅行・ドライブ・映画鑑賞・スポーツ観戦
【座右の銘】七転八起



青野 恵子

【趣味】ジョギング
【座右の銘】急がば回れ

令和元年9月に、保護司の委嘱を受けました。どうぞよろしくお願ひします。

10月には、新任保護司研修（前期）を受けました。受講後、帰りの電車の中で私は、後に保護司が務まるのかなと、不安な気持ちで、外の景色をぼーっと見ています。

このたび、地域の先輩保護司さんより推薦をいただき仲間入りをさせていただきました。私になりました。子どもの頃から、あわてんぼうの私ですが、これからは、落ち着いて、人の話を聞くことを心がけたいと思うようになります。

これから研修を受ける段ではありますが、とても楽しみにしています。今までの少しの経験と、これから学んでいく多くの知識を吸収し、視野を広げることができればと勝手に考えています。

約18年間、少年補導協助員として現在も地域の中学生と接しています。その間、多くの保護司さんに大変お世話になりました。自分自身の力のなさを実感し、充分に少年達の思いや考え方を理解できなかつたことも多々ありました。

生意気なことを申しますが、良い機会を与えられたことに感謝し、新たな場面を経験していく中で、先輩の皆様方からの助言や指導を大切にして頑張つて、こう思います。

ました。

そんな不安だらけの私で

したが、10月の定例会に、初めて出席させていただきました。

何かを急いで行おうとし

ても良い事はない、決して

近道であつたり、楽でかる道を選ぶのではなく、少し遠回りであつても、安全な道を歩もうと思つています。

た。それで、令和元年か

ら、私の座右の銘は、「急がば、回れ」にしました。

何かを急いで行おうとし

ても良い事はない、決して

近道であつたり、楽でかる

道を選ぶのではなく、少し

遠回りであつても、安全な

道を歩もうと思つていま

す。

た。それで、令和元年か

ら、私の座右の銘は、「急

がば、回れ」にしました。

編集後記

本年度より、事業年度に合わせて4月の発刊となりました。寸暇を惜しんで、寄稿頂いた会員の皆様には感謝申し上げます。本年度は、当保護司会の設立70周年でもあります。諸先輩の功績に恥じぬように多忙な一年となりましたが精進して参りました。

訃報

次の方々がご逝去されました。
(敬称略)

第10分会 原 昭太 (令和元年9月8日逝去)	朝倉 康太 (令和元年10月6日逝去)
----------------------------	------------------------

岸和田地区更生保護サポートセンターが移転しました

岸和田地区更生保護サポートセンターは、令和2年4月から「市立福祉総合センター」内に移転したのでお知らせします。



**岸和田地区
更生保護サポートセンター**
☎072-438-6660

非行や犯罪に関するお悩みやご相談をお聞きします。
秘密は厳守します。

来所の際は、必ず電話予約をお願いします。

開所時間 平日10時～16時

所在地 岸和田市立福祉総合センター2階(岸和田市野田町1-5-5)
予約をすれば夜間、土曜日、日曜日に相談することも可能です。